

【技術分類】 2 1 - 3 - 1 自動二輪車サスペンション / フロントサスペンション 2
 / リンク式フォークステア式

【 F I 】 B62K 25/16

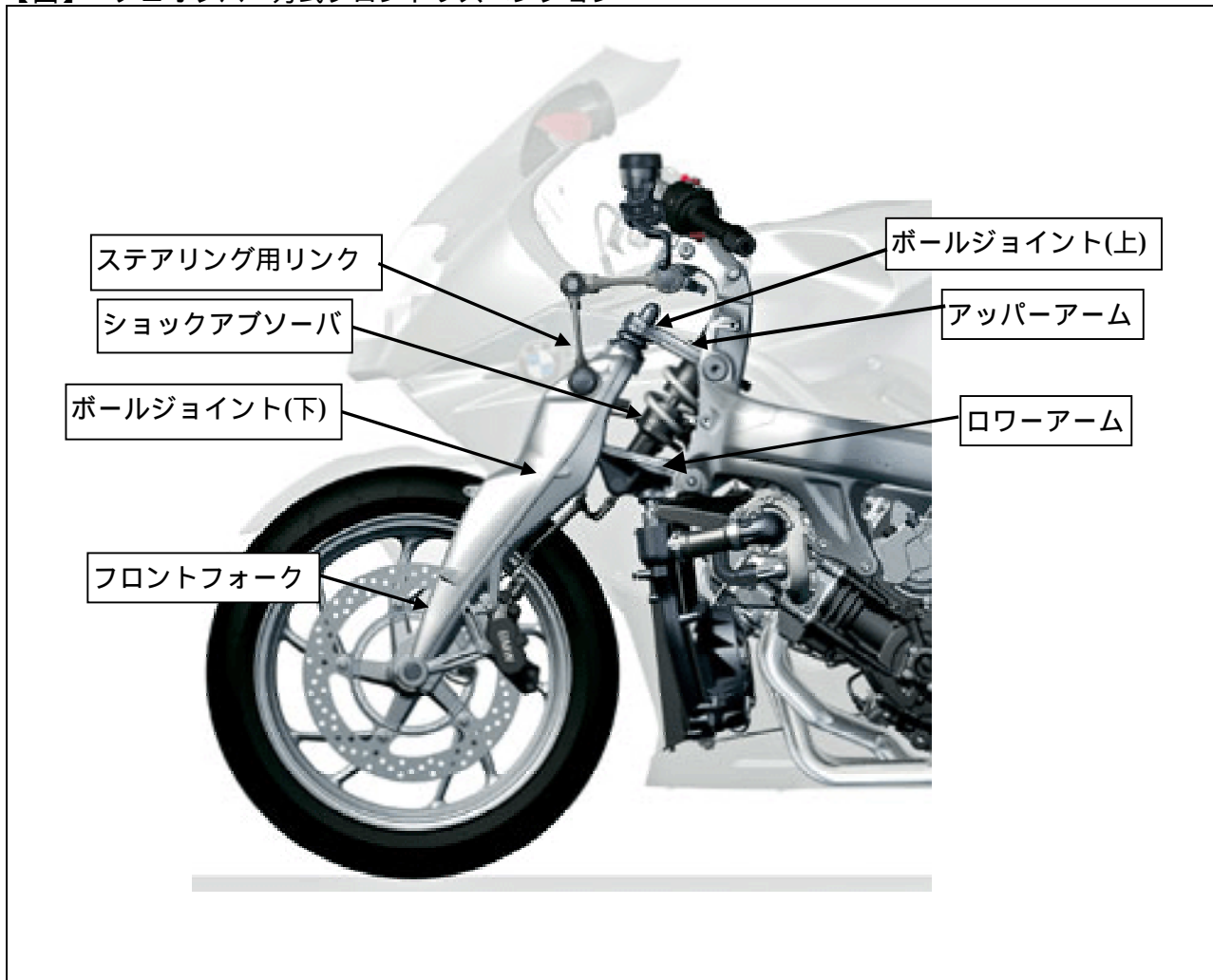
【技術名称】 2 1 - 3 - 1 - 1 デュオレバー方式 (ダブルウィッシュボーン式)

【技術内容】

これは従来の自動二輪のフロントサスペンションの構造と異なり、操舵機能と緩衝機能をフロントフォーク内で完結させるのではなく、それぞれを分離させて機能させたものであり、新しいタイプのサスペンション形式の1つである。

形式的には自動車のダブルウィッシュボーンを上下のボールジョイントを結ぶ軸(キングピン軸)の周りに 90 度回転させたようなレイアウトであり、キングピン軸の下端にフォークが付いたレイアウトである。アッパーアームとロワーアームの長さや取付け角度を適切に設定することにより、ブレーキング時のフロントサスペンションの沈み込み(diving)を軽減できる。なお上下のボールジョイントを結ぶ仮想の軸(キングピン軸)がステアリング軸となる。またショックアブソーバは1本なのでテレスコピックフォークのように左右フォークの特性のずれによる走行上の不具合もない。

【図】 デュオレバー方式フロントサスペンション



出典 : 「Motorcyclist 誌インターネット Home-page、<http://www.motorcyclistonline.com/>、
First Ride: 2005 BMW K1200S Motorcycle 記事、検索日 2005 年 2 月 24 日、
Tim Carrithers 著、
<http://www.motorcyclistonline.com/k12s1st-frameddiag-lg.jpg>、2005 Motorcyclist、

PRIMEDIA Inc. 社発行

【出典 / 参考資料】

Motorcyclist 誌インターネット Home-page、<http://www.motorcyclistonline.com/>
、First Ride: 2005 BMW K1200S Motorcycle 記事、検索日 2005 年 2 月 24 日、Tim Carrithers 著、
Motorcyclist、PRIMEDIA Inc. 社発行

【技術分類】 2 1 - 3 - 1 自動二輪車サスペンション / フロントサスペンション 2
 / リンク式フォークステア式

【 F I 】 B62K 25/08

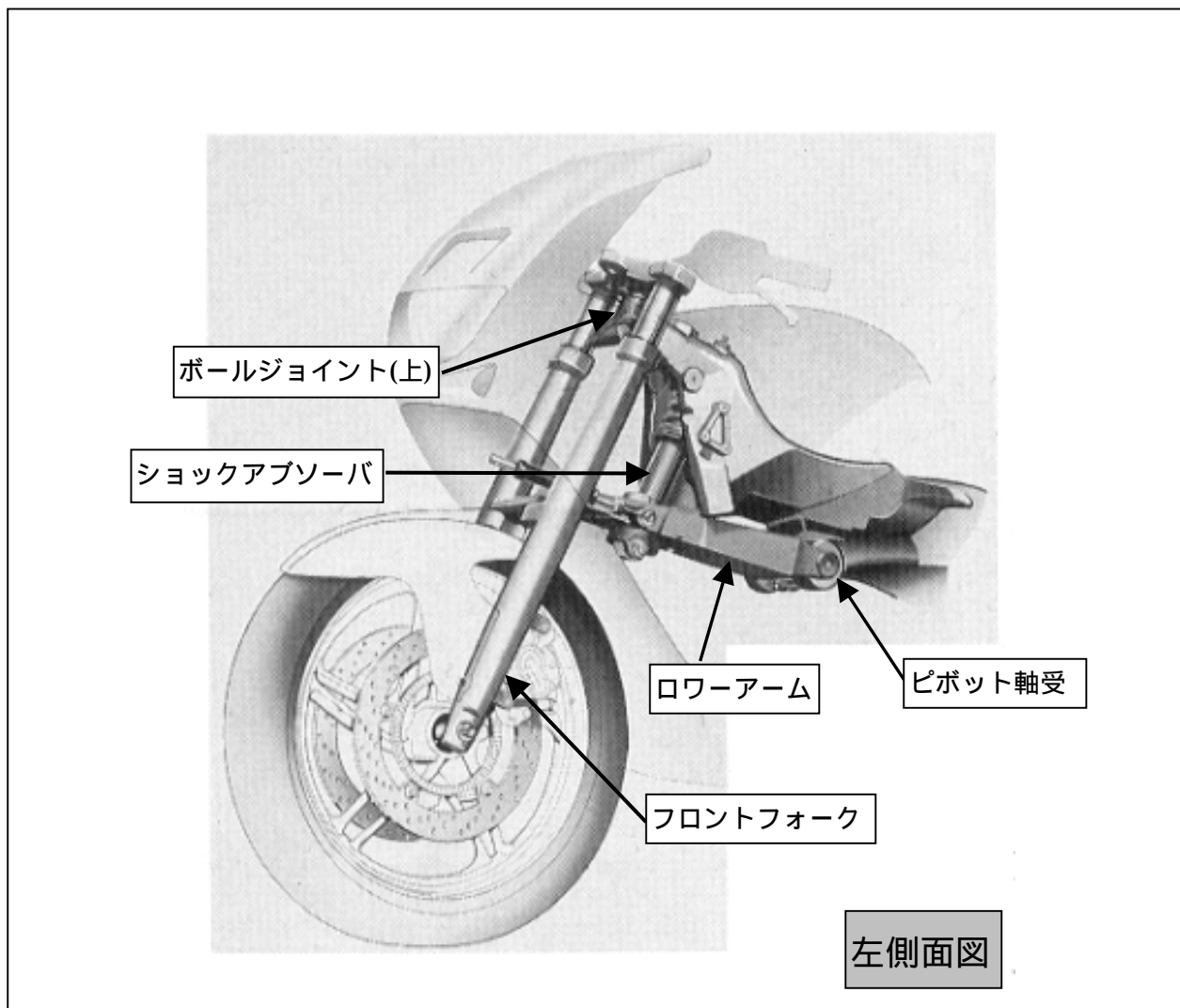
【技術名称】 2 1 - 3 - 1 - 2 テレレバー式 (マクファーソンストラットに似るが異なる方式)

【技術内容】

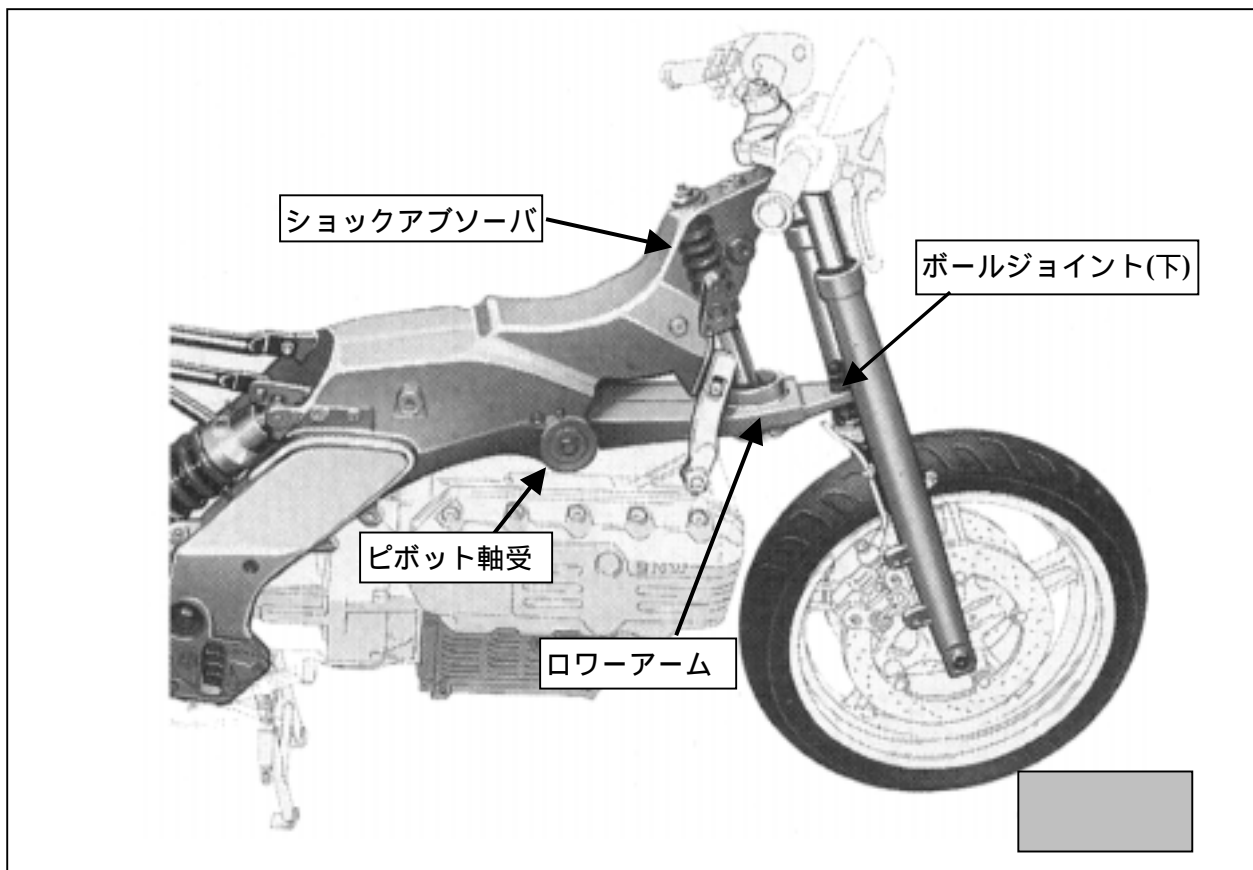
これは従来の自動二輪のフロントサスペンションの構造と異なり、操舵機能と緩衝機能をフロントフォーク内で完結させるのではなく、それぞれを分離させて機能させたものであり、新しいタイプのサスペンション形式の1つである。

形式的には自動車のマクファーソンストラットを上下のボールジョイントを結ぶ軸(キングピン軸)の周りに90度回転させたようなレイアウトであり、ストラットがフォークに相当する。しかしこの実施例ではストラットの円筒ガイド機能をフロントフォークが受け持ち、緩衝機能は別に独立させてロワーアームと車体フレーム間に設けている。フォークは単なる円筒ガイドであり、テレスコピックフォークのような緩衝機構を備えたものではない。この方式もロワーアームの長さや取付け角度を適切に設定することにより、ブレーキング時のフロントサスペンションの沈み込み(diving)を軽減できる。なお、上下のボールジョイントを結ぶ仮想の軸(キングピン軸)がステアリング軸となる。

【図】 テレレバー式フロントサスペンション部品構成



出典：「バイクのメカ入門」、1999年5月12日、つじ・つかさ著、株式会社グランプリ出版発行、
164頁 右上図



出典：「バイクのメカ入門」、1999年5月12日、つじ・つかさ著、株式会社グランプリ出版発行、
162頁 テレレバー方式のフロントサスとその操舵機構

【出典 / 参考資料】

「バイクのメカ入門」、1999年5月12日、つじ・つかさ著、株式会社グランプリ出版発行